

雇用・社会保障・中小企業・農業を柱に経済対策を

— 赤坂てる子県議が一般質問 —



六月定例会県議会は、八日に開会し、二十六日まで十九日間の日程で開かれました。日本共産党県議団は、赤坂てる子県議が一般質問に、森脇ひさき県議が討論に立ちました。詳細は、ホームページをご覧ください。

労働者の再就職と生活保障に万全を

赤坂県議は、生活・福祉と仕事の一体相談を行える総合的相談窓口を拡充することや、市町村や民間と協力し一時宿泊所の常設を行うよう求めました。また、子連れでも安心して相談できるマザーズハローワークを倉敷市への設置を国に求めるよう質しました。

産業労働部長は、「その整備促進を国に働きかけてまいりたい」と答えました。

赤坂県議の質問項目

1. 経済危機から暮らしと営業をどう守るか
 - (1) 雇用対策
 - (2) 社会保障
 - (3) 中小企業対策
 - (4) 農業問題
2. 教育について
 - (1) 教育予算について
 - (2) 特別支援学級の問題
3. チボリ問題
4. 踏切の安全対策

心身障害者医療費公費負担制度の一割負担撤回を

赤坂県議は、県が単県医療費公費負担制度に「応益負担」一割負担を導入してから二年半がたち、今回の景気対策で、本年四月に二倍化した低所得者の自己負担を二年間に限って元に戻したことに對し、「一定の評価はするが、人間の尊厳にかかわることであり景気対策で行うものではない」と指摘しました。

その上で、「根本の問題は、心

身近な生活密着型の公共事業を

赤坂県議は、「中小企業は、全事業所の九割、雇用の七割を占めており、県内の中小企業が元気になるか」、「緊急雇用創出事業等も活用して支援策を行ってはどうか」と質しました。

また、現在おこなわれている都市計画法の見直しにあたり都市農業を位置づけることを、国に要望するよう求めました。

市街化区域の農業(都市農業)への支援を

赤坂県議は、市街化区域内農地は、宅地並み課税となり、相続税の猶予もなく固定資産税は年々増えており、その田畑面積は十年前の八〇％へ急激に減少していることを紹介。「県として市街化区域の農業をどのように位置付けてい

るか」、「緊急雇用創出事業等も活用して支援策を行ってはどうか」と質しました。

また、現在おこなわれている都市計画法の見直しにあたり都市農業を位置づけることを、国に要望するよう求めました。

る支援なくして危機打開と地域再生はあり得ない」と指摘。学校の施設の耐震化、県道、橋、県営住宅などの改修、高潮対策など身近な地域・生活密着型の公共事業で地元業者への優先発注や県内資材の優先使用をすすめるよう求めました。

また、「深刻な経済危機のもとで中小企業の経営を守るためには、大企業による下請いじめを止めさせることが大切」と指摘し、この三月に公正取引委員会から出された指導文書を大企業・親事業所に徹底するよう求めました。

活動日誌

4月8日
介護保険の要介護認定方式変更問題で、県に申し入れ(写真右・上)



4月15日
後期高齢者医療制度について県と広域連合に申し入れ(写真右・中)



4月28日
「派遣切り」労働者の住居の確保について県に申し入れ



5月8日
農地法「改正」案について、県と懇談(写真右・下)

5月28日
岡山県の建設事業市町村負担金問題で県に申し入れ

5月29日
国の追加経済対策具体化にあたり、県に申し入れ(写真下)



石村智子衆院比例中国ブロック候補(左から3人目)も参加しました

— 岡山県政に対するご質問・ご意見・ご要望をお寄せ下さい —

日本共産党 岡山県議会報告

2009年7月 No. 9 FAX(086) 231-2187
日本共産党岡山県議会議員団 ☎(086) 226-7412
〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4-6 岡山県議会内
ホームページ <http://www.jcp-okayama-kengidan.jp>
E-mail : kyosan@pref.okayama.jp



内需の回復・拡大こそ最大の景気対策

森脇ひさき県議が討論

討論に立った森脇県議は、県一般会計補正予算案について、「賛成するが(問題点について)意見を述べる」として、「雇用創出、生活支援」「福祉・医療制度の充実」「教育費の負担軽減策のさらなる拡充」「産業分野の支援」について順に意見を述べました。

雇用創出、生活支援について、森脇県議は、職をなくし相談に来られる方々の立場に立った支援、たとえば一時宿泊所の常設さらなる住宅確保対策、生活支援制度の適用条件の緩和など諸施策の拡充を引き続き求めるとともに、とりわけ大企業に対して雇用の維持、正社員の増員、内定取り消しの中止等を強く求め、国に対して労働者派遣法の改正など、雇用を守るルールの確立を求める必要を強調しました。

福祉・医療制度の充実という点については、これまで改悪された制度を元にもどし、

国民の最後の命綱である社会保障を充実させる方向への大転換を国に要求するとともに、とりわけ県が負担増を実施した心身障害者医療費補助制度、ひとり親家庭医療費補助制度を元の無料の制度に改善するよう求めました。

教育費の負担軽減策のさらなる拡充について、森脇県議は、授業料減免制度の適用条件を緩和すること、奨学金受給者の枠を拡大し民間奨学金との併用も認めること、教材費や学校納付金、通学費への補助制度を創設することなどを求めました。

請願・陳情については、「継続審査」とされた「精神障害者の地域移行支援に関すること」「基幹型地域生活支援センター・ゆうの運営費削減をしないこと」「生活保護の母子加算復活を求めること」を求める陳情を「採択」するよう強く主張しました。

主な議案と請願・陳情の結果

| 【議案】 | 共産 | 自民 | 民進 | 公明 | 結果 |
|------------------------|----|----|----|----|----|
| 平成21年度岡山県一般会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ ○賛成

6月定例県議会は、知事提案の20議案を原案通り可決しました。わが党は全ての議案に賛成しました。

| 【請願・陳情】 | 共産 | 自民 | 民進 | 公明 | 結果 |
|--|----|----|----|----|----|
| 精神障害者の地域移行支援に関することについて (特定非営利活動法人岡山県精神障害者家族会連合会) | ○ | △ | ○ | ○ | △ |
| 岡山県財政構造改革プランに提示された基幹型地域生活支援センター・ゆうの運営費削減をしないことを求めることについて (小山陽通) | ○ | △ | ○ | △ | △ |
| 生活保護の母子加算復活を要求する国への意見書を求めることについて (岡山県生活と健康を守る会連合会) | ○ | △ | ○ | △ | △ |
| 雇用促進住宅の存続を求める意見書提出に関することについて (雇用促進住宅を守る会) | ○ | △ | △ | △ | △ |
| 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の採択を求めることについて (岡山県教職員組合) | ○ | × | ○ | × | × |

※ ○採択、×不採択、△継続



代表質問……派遣の「の」字もない雇用論議があるのか

武田英夫県議「いのしし日記」(六月十四日付)より

自民・民主・公明の代表質問が終わった。当然「雇用問題」が議論の大きな柱だった。しかし、その中で割り切れない思いに駆られたのは、「派遣」「住宅」の議論が全くなかったことである。

昨年来の景気・雇用危機の最大の特徴は「大企業による派遣切り」であり、その派遣労働者が「食と住」の両方を同時に失ったことにある。製造業への派遣拡大という派遣法の改悪、大企業による短期間で大規模な派遣切り、大企業と結託した全国区の派遣会社による「寮からの追い出し」……

「派遣村」が出現したのは世界で唯一一つ東京だけであり、これは日本の景気・雇用問題の最大の特徴であることはマスコミも指摘していることではないのか。

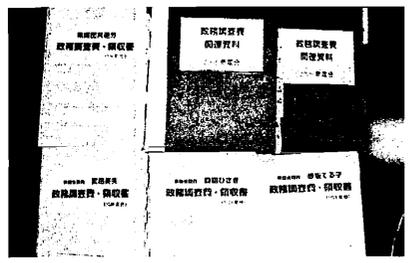
しかし、県議会の代表質問では、全く触れられなかった。昨年来、私たちが一番苦勞してきたのは、派遣切りされた労働者の住宅の確保である。だからこそ、岡山県にその対応を求め、県当局も「県営住宅の確保」「一時宿泊所」などの対応をしてきたのである。

派遣切りは一段落したかのように見える。

確かに「村田製作所」には、かつて四百人近くいた派遣労働者は全員首を切られて一人もいない。水島もそうである。しかし、問題が解決したわけではなく、新たな問題が始まっているのだ。再就職の道も狭く、何とかつないできた生活資金も枯渇してしまい、最近路上生活を強いられる人もいる。蒸し暑い中、「風呂代の工面を」の声も聞こえてくるのが現状なのだ。

県議会の雇用問題の議論は、この現実と正面から向かい合うものでなくて、何の意味があるのだろうか。

政務調査費を自主公開(8年連続) 費用弁償(出張旅費)を供託(2年連続)



| | 返納した政務調査費 | 供託した費用弁償 |
|---------|------------|------------|
| 武田 英夫県議 | 194,652円 | 859,000円 |
| 森脇ひさき県議 | 588,238円 | 651,000円 |
| 赤坂てる子県議 | 490,029円 | 700,000円 |
| 合計金額 | 1,272,919円 | 2,210,000円 |

党県議団は、六月一日から、昨年度分の政務調査費使途状況を自主的に公開しています(八年連続。県議団のホームページ。領収書は控室において)。また、昨年四月〜今年三月までに支給された費用弁償を法務局に供託しました(二年連続)。

新しい所属委員会が決まりました

5月15日に開かれた臨時岡山県議会で、党議員の所属委員会が変わり、次のとおり決まりました。

| | |
|---------|----------------------------|
| 武田 英夫県議 | 総務委員会 決算特別委員会 |
| 森脇ひさき県議 | 文教委員会 行財政改革・道州制等特別委員会 |
| 赤坂てる子県議 | 生活環境・保健福祉委員会 子ども応援特別委員会 |

2009年7～9月の議会日程(予定)

委員会の積極的な視聴を

| | | | |
|----------|---------|---------|----|
| 7月15日(水) | 各常任委員会 | 10時30分～ | 全員 |
| 7月24日(金) | 各常任委員会 | 10時30分～ | 全員 |
| 8月12日(水) | 各常任委員会 | 10時30分～ | 全員 |
| 8月26日(水) | 各常任委員会 | 10時30分～ | 全員 |
| 8月27日(木) | 特別委員会 | 10時30分～ | 全員 |
| 8月31日(月) | 議会運営委員会 | 10時30分～ | 武田 |
| 9月24日(木) | 特別委員会 | 10時30分～ | 全員 |
| 9月25日(金) | 各常任委員会 | 10時30分～ | 全員 |
| 9月31日(月) | 議会運営委員会 | 10時30分～ | 武田 |

9月定例県議会は、9月7日開会、9月30日閉会予定。一般質問は15日～18日で森脇ひさき県議が立つ予定です。閉会日には武田英夫県議が討論に立ちます。請願・陳情の提出締め切りは9月9日です。